

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## キウイの文化史

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2013-02-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 池谷, 和信 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/4836">http://hdl.handle.net/10502/4836</a>

Rights were not granted to include this image in electronic media. Please refer to the printed journal.

## キウイの文化史

池谷和信

日本や香港のスーパーマーケットで卵形のキウイの果実を見かけて、それがニュージーランド産であることを知る機会が多い。しかし、その原産地はじつは揚子江流域などの中国中部である。キウイという名前は、ニュージーランドの先住民マオリの言葉で「キーウイ」と呼ばれる鳥に、果実の色や形が似ていることに由来するといふ。

ニュージーランドには、20世紀の初めに中国からの移民がこの果物を伝え、1960年代、70年代には各家庭の庭につるで伸びる植物として急速に広まっていった。その後この国では品種の改良が進められ、世界で初めてこの果物の商品化に成功して輸出されるようになった。

わが国では近年、温帯の果実であるキウイを栽培する家もあり、そのつるは勝手に伸びていくので木陰をつくるのにもよいという。今後、ニュージーランドのように各家庭に必ず植わっている、というくらいに普及しても不思議はない。

K.Ikeya



香港のスーパーマーケットで売られるニュージーランド産のキウイ。